

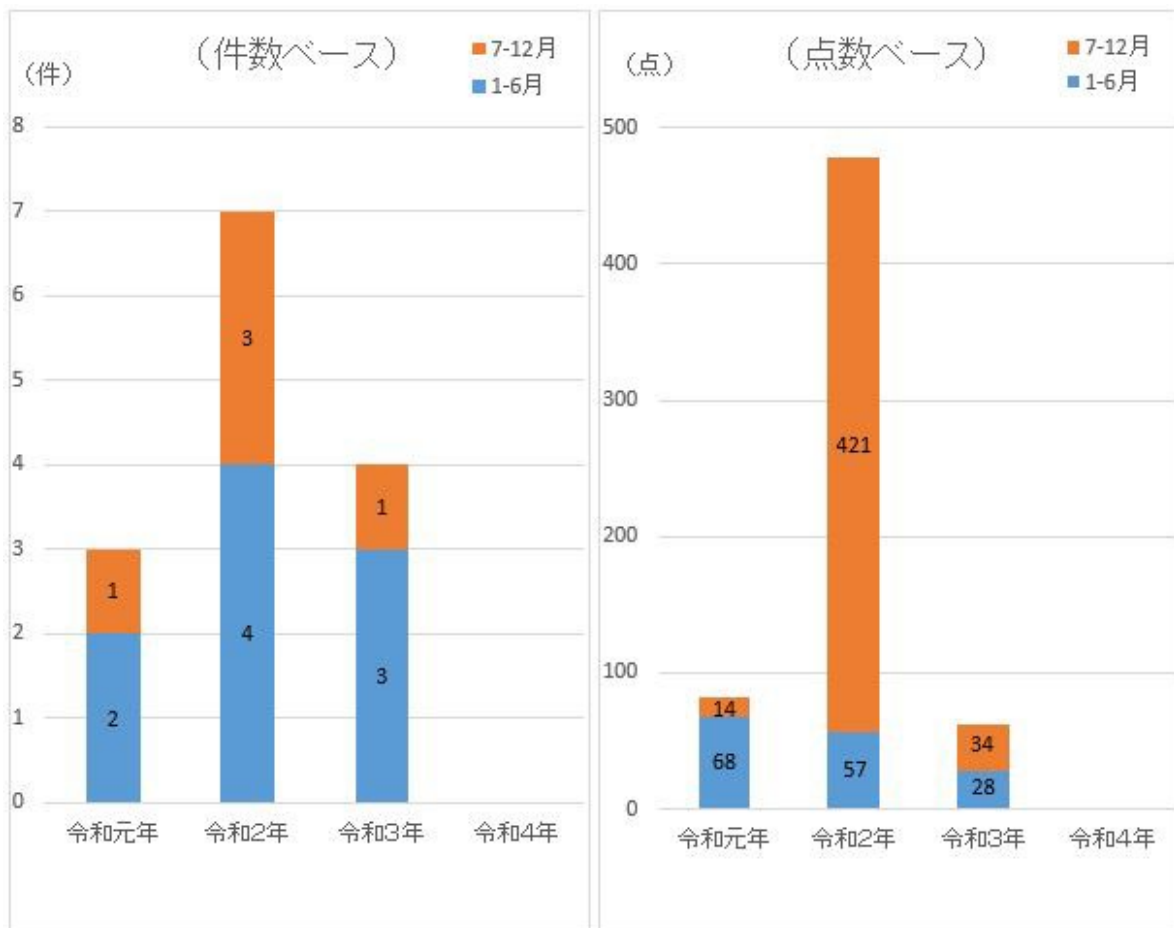
報道発表

令和4年9月9日
函館税関

令和4年上半期の函館税関における偽ブランド品などの知的財産侵害物品の差止状況をお知らせします。

○令和4年上半期の輸入差止はありませんでした。

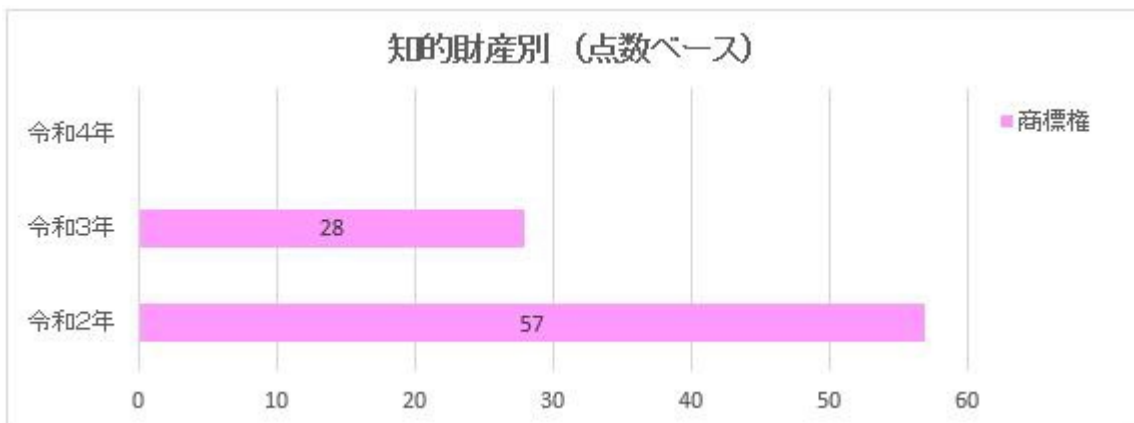
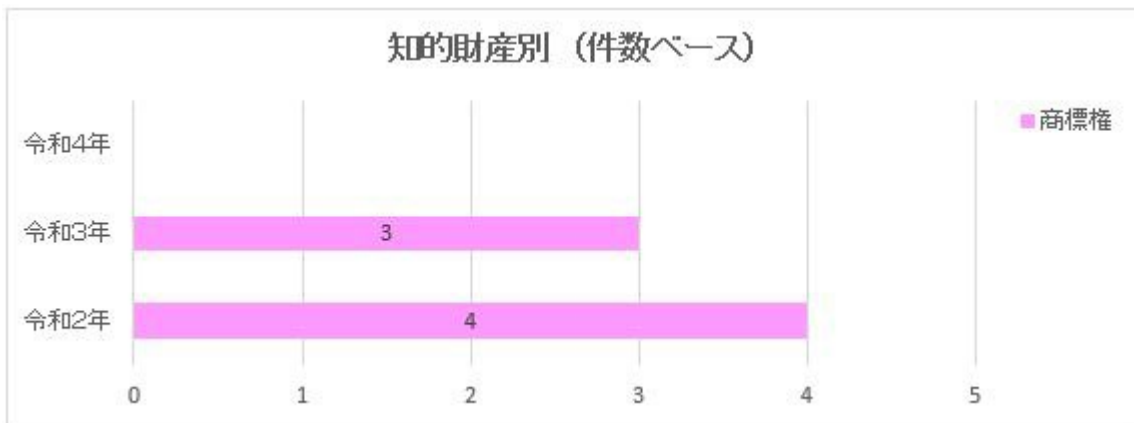
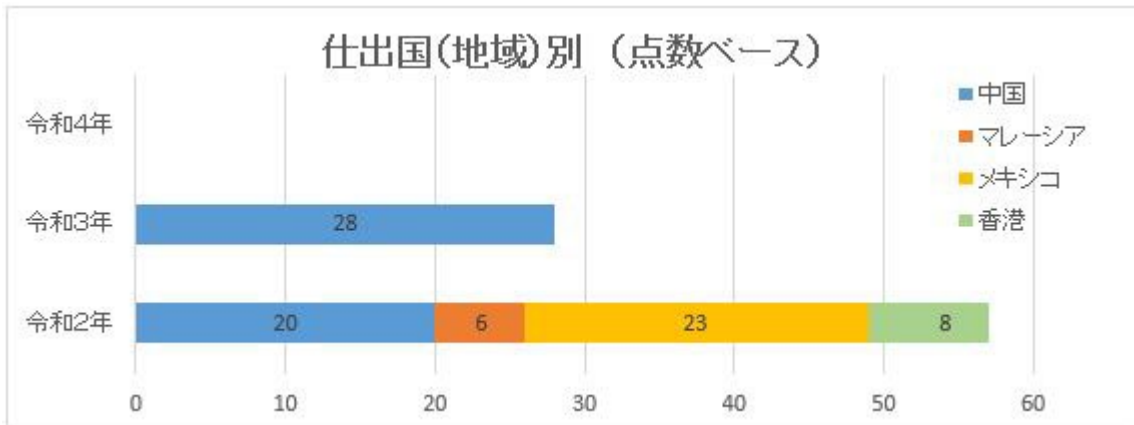
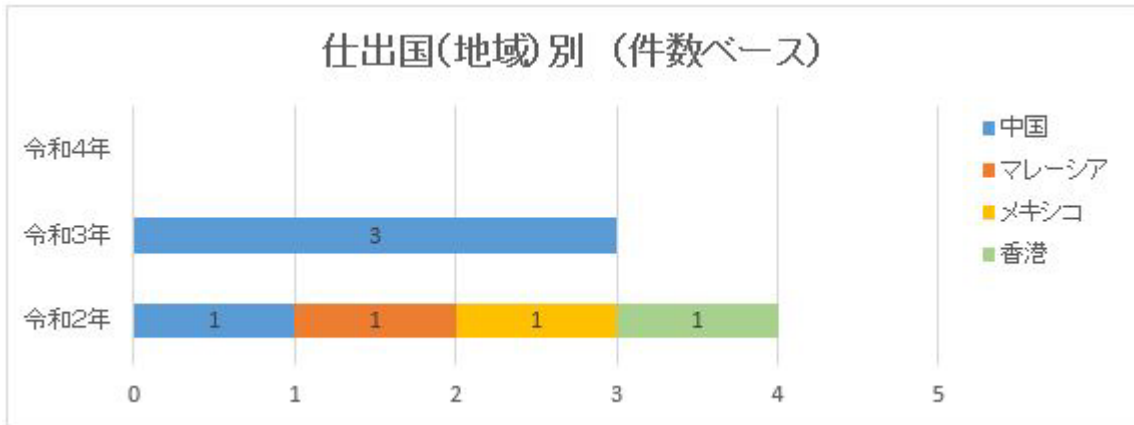
知的財産侵害物品差止実績



(注)「輸入差止件数」は、税関が差止めた知的財産侵害物品が含まれていた輸入申告又は郵便物の数です。
「輸入差止点数」は、税関が差止めた知的財産侵害物品の数です。
例えば、1件の輸入申告又は郵便物に、20点の知的財産侵害物品が含まれていた場合は、「1件20点」として計上しています。

《参考資料》

○知的財産侵害物品差止実績（直近3年各上半期）



○知的財産侵害物品に係る告発事例

他税関が国際郵便物等の中から発見し、函館税関に引き継いだ知的財産侵害物品について、当関が犯則調査を行い、告発した主な事例を紹介します。

【事例1】令和4年1月告発 釧路税関支署及び同支署十勝出張所

ベトナム社会主義共和国から北海道河西郡中札内村宛てに国際郵便物により商標権を侵害する靴 68 足を密輸入しようとしたベトナム人 1 名を関税法違反で告発しました。



【事例2】令和4年4月告発 函館税関

中華人民共和国から岩手県滝沢市ほか1か所宛てに国際郵便物により商標権を侵害するバッグ等 364 点を密輸入しようとした中国人ら 2 名を関税法違反で告発しました。



【問い合わせ先】 函館税関総務部税関広報広聴官 電話0138-40-4218

メールアドレス hkd-kohokocho@customs.go.jp